

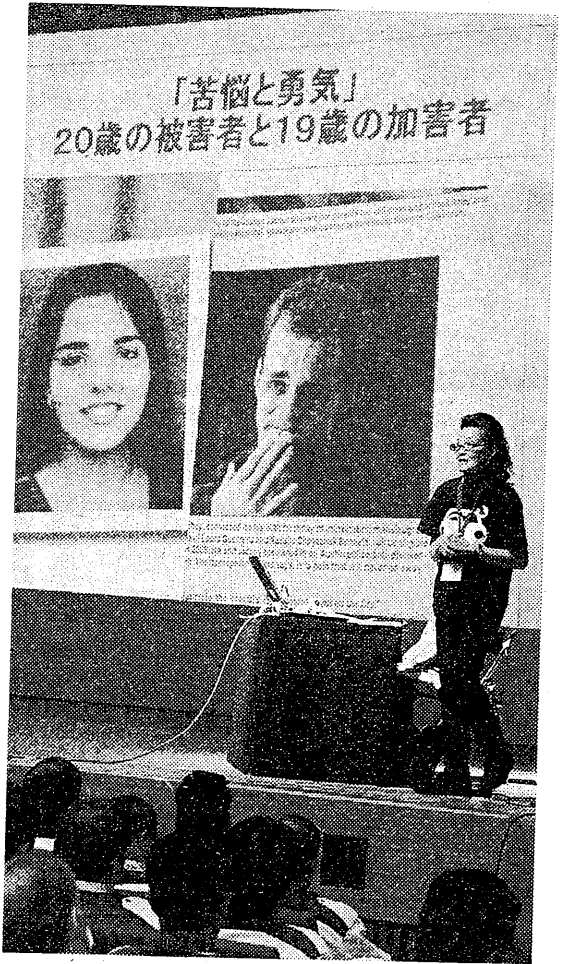
読賣新聞

2010年(平成22年)

4月23日 金曜日

飲酒運転の撲滅を NPO理事長訴え

飲酒運転撲滅を目指すNPO法人「MADD Japan」(マッド ジャパン) (本部・千葉県鎌ヶ谷市) 理事長の飯田和代さ



ん(66)が22日、県交通安全協会がひたちなか市で開いた自動車教習所教官向けの講習会に招かれ、「飲酒運転は特別な人の行為ではない。免許が死のパスポートにならないよう生徒に伝えてほしい」と訴えた。写真

Ⅱ。 県内の約40校から約900人が参加。飯田さんは、飲酒運転の車にはねられ息子を失った同じ被害者遺族の岩崎悦子さんと登壇した。

昨年1年間の県内の飲酒運転事故件数が全国ワースト上位だったことを挙げ、「茨城は駅から遠いところに住んでいる人が多く、交通手段がないというが、それが飲酒運転をしてよい理由になるのでしょうか」と疑問を投げかけ、「講習に生きた被害者の話を少しでも織り交ぜてほしい」と呼びかけた。

岩崎さんは「車はハンドルを握る気持ち一つで凶器にもなることをしっかり指導してほしい」と語った。